



contents

- 1 都市再生機構設立1周年 / 日本住宅公団設立50年 記念対談
“人が輝く都市”を求めて
三田 佳子 女優
伴 襄 独立行政法人都市再生機構 理事長
- 7 特別寄稿 思い出の団地生活
毎日がきらめいていたあの時代
水野 晴郎 映画評論家
- 9 野球人生のルーツは武庫川団地
清水 直行 千葉ロッテマリーンズ 投手
- 11 UR都市機構 / プロジェクト紹介
官・公・民が一体となって街を創る
UR都市機構がプロデュースする 芝浦アイランド
座談会
次代の都市は私たちが主役
眞鍋 かをり タレント
赤埴 文子 東京都心支社 都市再生企画部
早川 昌志 神奈川地域支社 業務第一部
沖山 観介 本社 地方都市業務部
柏木 大輔 埼玉地域支社 業務第二部
藤本 伸 募集販売本部 販売推進部
片岡 えみ 募集販売本部 住宅募集部
- 17 UR都市機構からのご案内
民間事業者の皆様方の様々な
ビジネス活動をサポートします。
明日へのパートナーシップをめざして
- 19 まちづくり半世紀の軌跡
- 21 UR TOPICS / 編集後記

都市再生機構設立1周年 / 日本住宅公団設立50年 記念対談

”人が輝く都市”を求めて

舞台をつくるUR都市機構
演者は民間事業者そして市民

”歴史”と”らしさ” を掘りおこす

伴 対談はよくなさるでしょうが、今日は都市とか住まいとかちょっと硬いテーマでお願いしました。

三田 いいえ、私たちは住まいなくして生きられませんから、とても大事なお話ですよ。

伴 住まいという話題にしやすいのですね、そういえば、新聞社の記者の方達が、ネタがなくなると公団へやってきまして、記事にしてみました笑。

三田 住宅公団が発足して50年、UR都市機構にかわって1年ですか。

伴 ええ、住宅公団は昭和30年に誕生しました。あの頃は大きな住宅不足で大量に早く供給する、質は二の次でした。しかし先駆的に、寝食分離を可能にしたダイニングキッチン、ステンレスの流し台、水洗トイレ、シンリンダー錠などを提供し普及させました。

三田 中産階級のおこがれの住まいですね。当時はドラマにも取り入れられた新しい家庭のシーンでした。水洗トイレは下水道という大きな整備が必要ですから個人では出来ない、大きな改革でした。

伴 今も公団という名称で、一般に一番馴染みがあるのが公団団地とか公団住宅ですよね。都市再生機構となって、都市再生といふのはUrban Renaissanceとか、頭文字をとってUR都市機構という呼び方をしようとしています、なかなか認知されていない。いかに公団の名称が浸透しているかです。

三田 歴史というのはやはり重いのですね。三田さんは公団の賃貸住宅とか団地とかに関わりがありましたか。

三田 住んだことはありませんが、小学生のとき住んだ東京の中野の近くにありまし



都市再生機構設立1周年
記念対談
日本住宅公団設立50年

伴 襄 ばん のぼる
独立行政法人都市再生機構 理事長
東京大学法学部卒業 建設省採用
大臣官房文書課広報室長 都市局都市政策課長
同 都市計画課長大臣官房審議官(建設産業)建設
経済局長大臣官房長 建設事務次官
住宅・都市整備公団・都市基盤整備公団副総裁
同総裁等を歴任後 現職

三田 佳子 みた よしこ

女優
女子美術大学附属高校卒業と同時に東映入社
日本映画全盛期のスター女優として60本以上の作品に出演
1967年独立後 舞台 テレビにも活躍の場を広げ今日に至る
代表作に映画「別れぬ理由」「遠き落日」 テレビではNHK大河ドラマ
「いのち」「花の乱」 NTV「外科医・有森冨子シリーズ」
舞台では「雪国」「夢千代日記」
「みだれ髪」等 現在 TBS日曜劇場
「いま、会いにゆきます」出演中の
ほか 明治座で好評の
「日本橋物語」三作目を構想中
芸術祭賞 日本アカデミー賞
最優秀主演女優賞 東京都民
栄誉賞など受賞歴多数

伴 テレビの番組でよく撮影に使っていますね。

三田 ええ、よくロケに来てますね。昔ながらの佃の渡しも保存され、お祭りもあつたりね。

伴 ちょっと近くに昔の風情があるっていうのがいいんでしょう。

三田 これからの都市づくりは近代化一辺倒ではなくて、古いいものを残して、歴史を背負いながら近代化と共生していくのが理想ではないかと思えますね。

伴 そうですね。我々の都市再生は、歴史をゼロにして全く新しくするのはなくて、以前のものを活かす、修復する、そして外側を残して中は近代化するの、いいと考えています。昭和30年代からの賃貸住宅も老朽化で建替えるのですが、団地で育った樹木や植生も活かしながらやろうとします。おっしゃる通り歴史を出来る限りきちんと残すことです。

三田 新しく新しくいい過ぎちゃって、今は昔のよさに気づきました。

伴 大川端は、もともと石川島播磨重工の造船所の跡地で、特定住宅市街地総合整備促進事業(現 住宅市街地整備総合支援事業)という手法で、まず公団が基盤整備をして三井不動産がマンション、公団は賃貸住宅をつくりました。公団時代のやり方は、基盤整備とともに、上物も手掛けたのですが、これからはプロデュースだけをやって上物は原則、民間の事業者の方によって頂くことになってます。三田さんのような舞台にあがって演じる役割は民間の方にお願いしようということです。晴海のトリトンスクエア、恵比寿のガーデンプレイスなどの時代は、公団も上物をつくって